



## Cisco Unified MeetingPlace for Microsoft Outlook Release 6.0(14.0) リリース ノート

---

*Published May 31, 2007*

このリリース ノートでは、Cisco Unified MeetingPlace for Microsoft Outlook Release 6.0(14.0) の新規および変更されたサポート、新規および変更された機能、制限と制約、未解決および解決済みの警告について説明します。

Cisco Unified MeetingPlace for Outlook のすべてのバージョンに関する最新のソフトウェア アップグレードには、<http://www.cisco.com/kobayashi/sw-center/sw-voice.shtml> にある Cisco Software Center Web サイトでアクセスできます。



**(注)**

---

ソフトウェア ダウンロード ページにアクセスするには、Cisco.com に登録ユーザとしてログインする必要があります。

---

## 内容

このリリース ノートは、次の項で構成されています。

- [概要 \(P.2\)](#)
- [システム要件 \(P.3\)](#)
- [関連資料 \(P.4\)](#)
- [新規および変更された要件とサポート : Release 6.0\(14.0\) \(P.4\)](#)
- [新機能 : Release 6.0\(14.0\) \(P.4\)](#)
- [変更された機能 : Release 6.0\(14.0\) \(P.4\)](#)
- [インストールおよびアップグレードに関する情報 \(P.5\)](#)
- [制限と制約 \(P.5\)](#)
- [警告 \(P.6\)](#)
- [マニュアルの更新 \(P.8\)](#)
- [技術情報の入手方法、サポートの利用方法、およびセキュリティ ガイドライン \(P.8\)](#)

## 概要

Cisco Unified MeetingPlace for Outlook は Cisco Unified MeetingPlace を Microsoft Outlook と統合します。この統合により、Cisco Unified MeetingPlace が簡素化され、エンドユーザは次のタスクを実行できるようになります。

- Cisco Unified MeetingPlace 会議通知を Outlook の受信トレイで受信する
- 会議を Outlook の予定表に自動的に配置する
- 1 回のクリックで会議に参加する
- 使い慣れた Outlook インターフェイスを使用して会議をスケジュールする

この製品は、Cisco Unified MeetingPlace 製品ファミリーに対するアドオンです。

## システム要件

この項では、次の情報について説明します。

- [Cisco Unified MeetingPlace for Outlook Release 6.0 の要件 \( P.3 \)](#)
- [互換性情報 \( P.3 \)](#)

### Cisco Unified MeetingPlace for Outlook Release 6.0 の要件

Cisco Unified MeetingPlace for Outlook の要件の最新情報については、『*Cisco Unified MeetingPlace Release 6.0 システム要件*』を参照してください。このマニュアルは、[http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod\\_installation\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod_installation_guides_list.html) ( 英語版 ) で入手できます。



(注)

Cisco Unified MeetingPlace for Outlook Release 6.0 の初期リリースでは、Microsoft Outlook 2007 はサポートされていません。Microsoft Outlook 2007 のサポートは、メンテナンス リリースに追加される予定です。現行のサポートについては、『*Cisco Unified MeetingPlace Release 6.0 システム要件*』を参照してください。

### 互換性情報

Cisco Unified MeetingPlace for Outlook 6.0 と他の Cisco Unified MeetingPlace コンポーネントとの互換性については、

[http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/products\\_device\\_support\\_tables\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/products_device_support_tables_list.html) ( 英語版 ) にある『*互換性マトリクス : Cisco Unified MeetingPlace コンポーネント*』を参照してください。

### ソフトウェア バージョンの確認

**Outlook のスケジューリング フォームを使用して使用中の Cisco Unified MeetingPlace for Outlook のバージョンを確認する**

- ステップ 1** Outlook の予定表を開き、時刻をダブルクリックします。スケジューリング フォームが開きます。
- ステップ 2** [MeetingPlace] タブをクリックします。[MeetingPlace] タブが開くまで経過表示バーが表示されません。
- ステップ 3** [バージョン情報] をクリックします。[ Cisco MeetingPlace for Outlook について ] ウィンドウに、Cisco Unified MeetingPlace for Outlook と Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing のバージョンが表示されます。

**gwstatus コマンドを使用して使用中の Cisco Unified MeetingPlace for Outlook のバージョンを確認する**

- ステップ 1** Cisco Unified MeetingPlace Audio Server システムに Telnet 接続し、技術者としてログインします。

**ステップ 2** tech\$ プロンプトで、**gwstatus** と入力します。コマンド出力に、Cisco Unified MeetingPlace for Outlook のバージョンが表示されます ( Outlook:GW として表示されます )。

## 関連資料

Cisco.com の Cisco Unified MeetingPlace のマニュアルの説明および場所については、『*Documentation Guide for Cisco Unified MeetingPlace*』を参照してください。マニュアルは Cisco Unified MeetingPlace に付属し、次の URL からアクセスできます。

[http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/products\\_documentation\\_roadmaps\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/products_documentation_roadmaps_list.html)

## 新規および変更された要件とサポート : Release 6.0(14.0)

Cisco Unified MeetingPlace for Outlook Release 6.0(14.0) には、新規または変更された要件やサポートはありません。

旧バージョンの Cisco Unified MeetingPlace for Outlook の新規および変更されたサポートについては、該当するバージョンのリリース ノートを参照してください。Cisco Unified MeetingPlace for Outlook の全バージョンのリリース ノートは、

[http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod\\_release\\_notes\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod_release_notes_list.html) で入手できます。

## 新機能 : Release 6.0(14.0)

この項では、Cisco Unified MeetingPlace for Outlook Release 6.0(14.0) だけの新機能について説明します。旧バージョンの Cisco Unified MeetingPlace for Outlook の新機能については、該当するバージョンのリリース ノートを参照してください。Cisco Unified MeetingPlace for Outlook の全バージョンのリリース ノートは、[http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod\\_release\\_notes\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod_release_notes_list.html) で入手できます。

## 使用可能な会議テンプレート

Cisco Unified MeetingPlace for Outlook のスケジュールリング フォームを使用して Cisco Unified MeetingPlace 会議をスケジュールする場合、ユーザは会議に対する会議テンプレートを選択できます。会議テンプレートは、会議に対する会議室の形式と参加者のアクセス権を制御します。

会議テンプレートのフィールドについては、Cisco Unified MeetingPlace for Outlook のヘルプを参照してください。ヘルプを参照するには、Outlook のスケジュールリング フォームの [MeetingPlace] タブにある [ヘルプ] リンクをクリックします。

## 変更された機能 : Release 6.0(14.0)

Cisco Unified MeetingPlace for Outlook Release 6.0(14.0) には、変更された機能はありません。P.6 の「[解決済みの警告 : Release 6.0\(14.0\)](#)」を参照してください。

## インストールおよびアップグレードに関する情報

この項では、次の情報について説明します。

- [Cisco Unified MeetingPlace for Outlook Release 6.0 の初回インストール \(P.5\)](#)
- [Cisco Unified MeetingPlace for Outlook Release 6.0 へのアップグレード \(P.5\)](#)

### Cisco Unified MeetingPlace for Outlook Release 6.0 の初回インストール

Cisco Unified MeetingPlace for Outlook のインストール手順については、[http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod\\_maintenance\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod_maintenance_guides_list.html) (英語版)にある『Cisco Unified MeetingPlace for Outlook アドミニストレーション ガイド Release 6.x』の「Cisco Unified MeetingPlace for Outlook のインストール」の章を参照してください。

### Cisco Unified MeetingPlace for Outlook Release 6.0 へのアップグレード

Cisco Unified MeetingPlace バージョン 6.0 を使用する場合は、すべての Cisco Unified MeetingPlace 統合コンポーネントを、Microsoft Windows Server 2003 ベースの Cisco MCS オペレーティングシステムを実行する MCS サーバにインストールする必要があります。オペレーティングシステムを Windows 2000 Server ベースのバージョンから Windows 2003 ベースのバージョンに変更するには、新規インストールが必要です。シスコでは、オペレーティングシステムを Windows 2000 ベースのバージョンから Windows 2003 ベースのバージョンにアップグレードすることはサポートしていません。

Cisco Unified MeetingPlace for Outlook Release 6.0 へ移行する場合は、固有データのバックアップ、Windows 2003 ベースのオペレーティングシステムのインストール、Cisco Unified MeetingPlace コンポーネントの再インストール、およびデータの復元を行う必要があります。

[http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod\\_release\\_notes\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod_release_notes_list.html) (英語版)にある『Cisco Unified MeetingPlace Audio Server Release 6.0(0.25) リリース ノート』の「Cisco Unified MeetingPlace 6.0 へのアップグレード」の項を参照してください。

## 制限と制約

### 時間帯の異なる参加者に定例会議の通知の時刻が誤って表示される

ある時間帯に属するユーザが定例会議を設定し、別の時間帯に属するユーザを招待する場合、通知の When 行に誤った時刻が表示されます。ただし、通知本文の時刻は正しく表示されます。また、予定表での配置も正しく行われます。

### 会議の添付とユーザ プロファイル

添付を含む会議がスケジュールされると、ユーザ プロファイルの [Include Attachments] 属性が [No] (会議通知で添付を受信しない) に設定されている場合でも、ユーザは会議の電子メール通知で添付を受信します。

ユーザ プロファイルの [Include Attachments] 属性には、MeetingTime の [Configure] タブにある [Receiving Notifications] でアクセスできます。

## 警告

この項では、シビルティ 1、2、および 3 の警告を示します。

Cisco Unified MeetingPlace for Outlook バージョン 6.0(14.0) の最新の警告のほか、任意のリリースに関する任意のシビルティの警告を検索するには、オンライン ツールの Bug Toolkit を使用します。このツールを使用すると、お客様は各自のニーズに応じて障害について問い合わせることができます。Bug Toolkit は、[http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/launch\\_bugtool.pl](http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/launch_bugtool.pl) で入手できます。Bug Toolkit の使用方法については、P.6 の「Bug Toolkit の使用方法」を参照してください。



**(注)** Bug Toolkit にアクセスするには、Cisco.com に登録ユーザとしてログインする必要があります。

この項では、Cisco Unified MeetingPlace for Outlook Release 6.0(14.0) だけの警告について説明します。旧バージョンの Cisco Unified MeetingPlace for Outlook の警告については、該当するバージョンのリリース ノートを参照してください。Cisco Unified MeetingPlace for Outlook の全バージョンのリリース ノートは、[http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod\\_release\\_notes\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod_release_notes_list.html) で入手できます。

### 未解決の警告 : Release 6.0(14.0)

Bug Toolkit で警告の最新情報を表示するには、[Caveat Number] カラム内のリンクをクリックします (警告は、シビルティ順、警告番号順という順序で表示されます)。

表 1 Cisco Unified MeetingPlace for Outlook Release 6.0(14.0) の未解決の警告

警告番号	シビルティ	コンポーネント	説明
<a href="#">CSCsc88881</a>	2	outlook	Name of invitee is corrupted when scheduled from MP Web
<a href="#">CSCsi94529</a>	2	outlook	Meeting can be deleted during Offline mode
<a href="#">CSCsh76761</a>	3	outlook	Unable to reschedule from recurrence button
<a href="#">CSCsh93441</a>	3	outlook	Customer logo is not present on invitee's meeting list page
<a href="#">CSCsh97720</a>	3	outlook	Invitee sees option to outdial to video endpoint for MeetingNotes
<a href="#">CSCsi25569</a>	3	outlook	Language JPN - Check avail always displays error 22696, slot conflict
<a href="#">CSCsi94556</a>	3	outlook	Meeting name not displayed on title bar

### 解決済みの警告 : Release 6.0(14.0)

Release 6.0(14.0) には解決済みの警告はありません。

## Bug Toolkit の使用方法

Bug Toolkit にアクセスするには、インターネット接続、Web ブラウザ、および Cisco.com のユーザ ID とパスワードが必要です。Bug Toolkit の使用方法の詳細については、任意の [Bug Toolkit] ウィンドウで [Help] をクリックしてください。

### Bug Toolkit を使用する

**ステップ 1** Web ブラウザを開いて [http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/launch\\_bugtool.pl](http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/launch_bugtool.pl) に移動します。

**ステップ 2** [Launch Bug Toolkit] リンクをクリックします。

**ステップ 3** 特定の警告に関する情報を検索するには、[Enter Known Bug ID] フィールドに ID 番号を入力します。

Cisco Unified MeetingPlace コンポーネントの警告をすべて表示するには、[Search for Bugs in Other Cisco Software and Hardware Products] セクションに移動し、[Product Name] フィールドに **meetingplace** と入力します。

**ステップ 4** リストで、[Cisco Unified MeetingPlace] を選択し、[Next] をクリックします。

**ステップ 5** Cisco Unified MeetingPlace 検索ページで、検索結果を絞り込むためのオプションを設定します。次に示す使用可能なオプションの一部またはすべてを選択します。

- a. 該当する Cisco Unified MeetingPlace バージョンを選択します。
  - メジャー リリースのメジャー バージョンを選択します。メジャー リリースには、重要な新機能、機能拡張、アーキテクチャの変更、バグフィックスのいずれか、またはそれらすべてが含まれています。
  - 詳細を表示するには、リビジョンを選択します。リビジョン (メンテナンス) リリースには、主として、特定の問題に対するバグフィックスが含まれていますが、新機能や機能拡張が含まれている場合もあります。
- b. 該当する機能またはコンポーネントを選択します。[Available] リストから選択し、[Add] をクリックして選択内容を [Limit Search To] リストに配置します。
- c. 警告のタイトルと説明を検索するためのキーワードを入力します。



(注) 問い合わせの条件をあまり絞り込まないようにするには、メジャー バージョンまたはリビジョン、機能またはコンポーネント、およびキーワード オプションで、ワイルドカードの All を使用します。

- d. 適切な詳細オプションを選択します。
  - [Bug Severity] : デフォルトでは、シビラティ 1 ~ 3 が指定されています。
  - [Bug Status Group] : 解決済みの警告を検索する場合は、[Fixed] チェックボックスをオンにします。
  - [Release Note Enclosure] : デフォルトでは、[Valid Release Note Enclosure] が指定されています。

**ステップ 6** [Next] をクリックします。Bug Toolkit が警告のリストを返します。



(注) 結果を変更するには、異なる条件を使用して、別の問い合わせを行います。また、問い合わせの内容を保存して、後で使用することもできます。

## マニュアルの更新

### 誤記訂正

この項では、現在の Cisco Unified MeetingPlace for Outlook マニュアルの誤記と、訂正後の情報を記載します。正しい情報は将来のドキュメントリリースに取り込むか、または注釈として示す予定です。

### Cisco Unified MeetingPlace for Outlook のヘルプ：他のユーザに代わって会議をスケジュールする

「About Scheduling Meetings on Behalf of Other Users (他のユーザに代わって会議をスケジュールする)」のトピックにおいて、箇条書きの 4 番目の項目は誤っているため、次の項目と差し替える必要があります。

- 他のユーザの代理として会議をスケジュールした後でパスワードの有効期限が切れた場合、その後もパスワードを変更していないときは、次の制限が適用されます。
  - 予定表で会議をドラッグアンドドロップして再スケジュールすることはできません。
  - パスワードの有効期限が切れた後で最初に関開く会議が、他のユーザの代理としてスケジュールした会議である場合は、新しいパスワードを入力するように要求されますが、入力したパスワードは保持されません。この問題を回避するには、予定表で会議を開いて、パスワードを変更する必要があります。
  - ユーザは会議を再スケジュールできません。ただし、会議に参加することは引き続き可能です。
  - ユーザは会議を削除できません。

## 技術情報の入手方法、サポートの利用方法、およびセキュリティ ガイドライン

技術情報の入手、サポートの利用、技術情報に関するフィードバックの提供、セキュリティ ガイドライン、推奨するエイリアスおよび一般的なシスコのマニュアルに関する情報は、月刊の『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。ここには、新規および改訂版のシスコの技術マニュアルもすべて記載されています。次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

CCVP, the Cisco logo, and the Cisco Square Bridge logo are trademarks of Cisco Systems, Inc.; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn is a service mark of Cisco Systems, Inc.; and Access Registrar, Aironet, BPX, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, HomeLink, Internet Quotient, IOS, iPhone, IP/TV, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, iQuick Study, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, Networking Academy, Network Registrar, Packet, PIX, ProConnect, ScriptShare, SMARTnet, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, and TransPath are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0705R)

このドキュメントで使用しているインターネット プロトコル (IP) アドレスは、実在のアドレスではありません。ドキュメント中で示される例、コマンドの画面出力、および図は、いずれも視覚的な説明のみを目的としています。実在する IP アドレスが例示されていた場合、それらは意図して使用したものではありません。

Copyright © 2007 Cisco Systems, Inc.  
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。

シスコシステムズでは以下の URL で最新の日本語マニュアルを公開しております。  
本書とあわせてご利用ください。

Cisco.com 日本語サイト

[http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual\\_j/](http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/)

日本語マニュアルの購入を希望される方は、以下の URL からお申し込みいただけます。

シスコシステムズマニュアルセンター

<http://www2.hipri.com/cisco/>

上記の両サイトで、日本語マニュアルの記述内容に関するご意見もお受けいたしますので、  
どうぞご利用ください。

なお、技術内容に関するご質問は、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。



シスコシステムズ合同会社

〒 107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先 (シスココンタクトセンター)

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>

0120-933-122 (通話料無料)、03-6670-2992 (携帯電話、PHS)

電話受付時間: 平日 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

OL-14203-01-J